

金見崎スイノ(イノー; 礁池)と その周辺でよく見られる動植物

2020年

一般社団法人金見あまちゃんクラブ

- 観察するススイノ（イノー；礁池）とその周辺には、概ね9つの環境が認められます。黒数字の1-9です。
- また、その周辺には地元の人々が利用するために、独特な地名がつけられています。白数字の10-15です。

動植物写真・文責；鈴木廣志

イノー航空写真提供；徳之島町教育委員会社会教育課

- 1 砂浜移行部分
- 2 砂浜 (湿潤地)
- 3 砂浜 (陸際)
- 4 岩礁
- 5 礁原タイドプール (陸側)
- 6 イノー (礁池)の縁
- 7 スイイノ (イノー; 礁池)
- 8 礁原タイドプール (海側)
- 9 礁縁
- 10 フードウマイ
- 11 トウイゼイ
- 12 フーギジイメイ
- 13 アーメイウラ
- 14 トウンワタイ
- 15 カイズネイ





砂浜（1、2、3、4）でよく見られる植物、カニ類

砂浜への入り口にはシナガワハギ、コメツブツメクサ、スナズルなどが生え、アダンの林から砂浜にかけてはハマズギ、ハマヒルガオ、ゲンバイヒルガオ、ハマゴウなどのツル植物、砂浜の所々にハマボツス、タイトゴメ、ハマニガナなどが生えています。また、岩場にはイソマツ、モクビヤッコウ、テンノウメなども見られます。どんな植物があるかゆっくり歩いて観察しましょう。

砂浜を歩くところどころに大小様々な巣穴があります。これはツノメガニやミナスナガニの巣です。また夜になると山に住んでいるオカガニ、カクレイワガニ、オカヤドカリ類が砂浜まで出てくることがあります。

砂浜（1、2、3、4）でよく見られる植物、カニ類

1 で観られる

- シナガワハギ
- コメツブツメクサ
- スナズル

2 で観られる

- ツルナ
- キケマン

3 で観られる

- ハマヒルガオ
- ハマアズキ
- シロバナミヤコグサ
- ハマボウフウ
- ハマゴウ
- ハマタイゲキ

4 で観られる

- イソマツ
- モクビヤッコウ
- ハナカモノハシ
- クサトベラ幼葉
- ギンギン
- テンノウメ

砂浜で観られる動物（特に夜間）

- ムラサキオカヤドカリやナキオカヤドカリ
- ツノメガニ
- ミナミスナガニ
- オカガニ
- カクレイワガニ



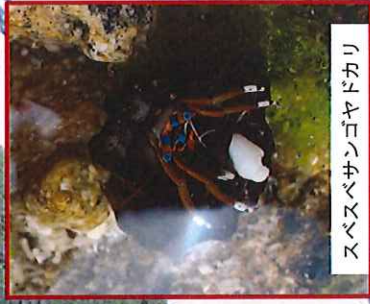
礁原タイドプール（5）でよく見られる動植物

砂浜に一番近い礁原やタイドプールには、砂、礫、転石、岩などが多く、まるで生き物のいない世界のようです。でも、ちよつと湿ったところやタイドプール内の転石や岩などにはオウギガニ類、イワガニ類、巻貝類などが隠れています。そつとどこか探してみましよう。

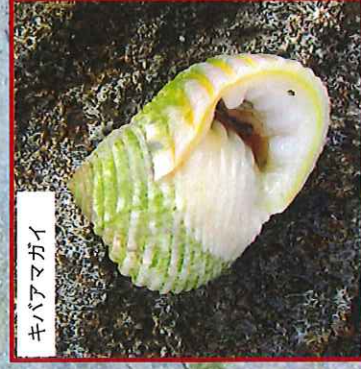
また、サンゴ礁の穴や割れ目からは黒い足が多数出て、うごめいています。これはウデフリクモヒトデの足です。どんな動きをするか観察すると面白いです。

礁原タイプール (5) でよく見られる動植物

甲殻類



無脊椎動物 (軟体、棘皮)





イノ一の縁（6）でよく見られる動植物

ススイノ（イノ一）の中に入る前に、その縁の部分を観察しましょう。ここには、海藻類、サンゴの子供、メスナギシの仲間などが縁にへばりつくようにして住んでいたり、ウミウシの仲間やナマコの子供やオウトデの仲間などがのんびりと動いています。また、ウツボ類の仲間のケヤリギガニ類などが割れ目などに隠れていたり、岩からよく通るところには色々な生き物が出ます。特に、濡筋など海水のよよく通るところには色々な生き物が出ます。

イノ一に落ちないように気をつけて観察しましょう。

イノー (礁池) の縁 (6) でよく見られる動植物 -1-

海藻類



アオモグサ



ウスカワカニノテ



ウスユキウチワ



オオパロニア



タマゴパロニア



ラッパモク



モツレミル



キブリモサヅキ



イボハダハナヤサイサンゴ



アザミサンゴ



ハナガササンゴ



シヨウガサンゴ



コブハマサンゴと
ハリカメノコキクメイシ



シロママスナギンチャク



ママスナギンチャク

サンゴ類

イノー（礁池）の縁（6）でよく見られる動植物 -2-

魚類



クモツボ幼魚



ルリスズメダイ

甲殻類



ケブカオウギガニ

無脊椎動物（環形、軟体、棘皮）



ケヤリムシ



ゼニガタフシエラガイ



くニタケガイの殻



オオイカリナマコ



ジャノメナマコ



アオヒトデ



スイイノ（イノー）7でよく見られる動植物

ここには大きく成長したサンゴ類、そのサンゴの中に住んでいるシヤコガイ類、ゴカイ類、また、サンゴと岩の間の隙間などにナマコ類やウニ類が住んでいます。そして、みんなの好きなきな魚類がたくさん住んでいます。

箱メガネを使ったり、スキндаイビングなどをして、水中をのぞいてみましょう。

イノー（礁池）7でよく見られる動植物 -1-

海藻類



サキブトミル



ハマサンゴ



ハマサンゴ



点在するハマサンゴ

サンゴ類



エダミドリイン



シコロサンゴ



ショウガサンゴ



ノウサンゴ



コブハマサンゴとバリカメノコキクメイシ



コブハマサンゴ



コブハマサンゴとトガリシコロサンゴ



ヒレジャコガイ



イバラカンザシ



ケヤリムシ



オオイカリナマコ



ジャノメナマコ



トックリガンガゼモドキ

イノー（礁池）7でよく見られる動植物 -2- 魚類





礁原タイドプール（8）でよく見られる動植物

イノーと外海の間には大小様々なタイドプールがあります。

ここには海藻類、スナギンチャク類、魚類、甲殻類、巻貝類、ウニ・ヒトデ・ナマコ類など多種多様な生き物がいます。これらの生き物は魚のように素早く動くものもいますが、多くは貝殻を被ったり、岩の割れ目や海藻の中、あるいは砂の中に隠れています。体の色や模様も周囲の環境にとても似ています。また、体の大きさが1cm足らずの生き物もいます。更に、ナガウニやナマコにはヤドリエビの仲間やカニダマシの仲間などが隠れています。

タイドプールの中の砂や海藻の間を注意深く、目をこらして丹念に探してみてください。

礁原タイププール（8）でよく見られる動植物 -1-

海藻類



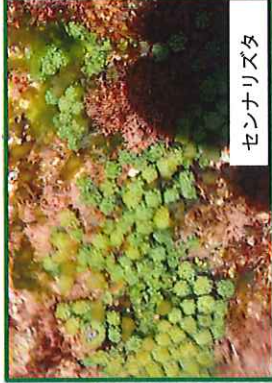
ラップモクケヒカゴメノリ



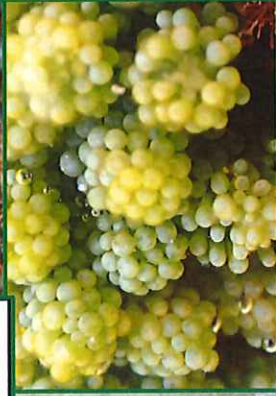
アオモグサ



スロコギズタ



センナリズタ



センナリズタ

サンゴ類

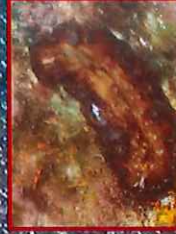


クロソジ



シロママスナギンチャク

ヒラムシ類



クロヒメツツノヒラムシ

魚類



クモウツボ



クロヤハズハゼ

礁原タイププール（8）でよく見られる動植物（無脊椎動物）



礁原タイプール（8）でよく見られる動植物 -3- 甲殻類



シマヤドリエビ



クリイロサンゴヤドカリ?



イソクスガニ



ベニツケガニの仲間



ケブカオウギガニ



ビロウドアワツブガニ



スベスベケブカガニ



ドメシアガニ



ハシリケブカガニ



ケブカオウギガニ



ヒメオウギガニ



ヒメイワガニ

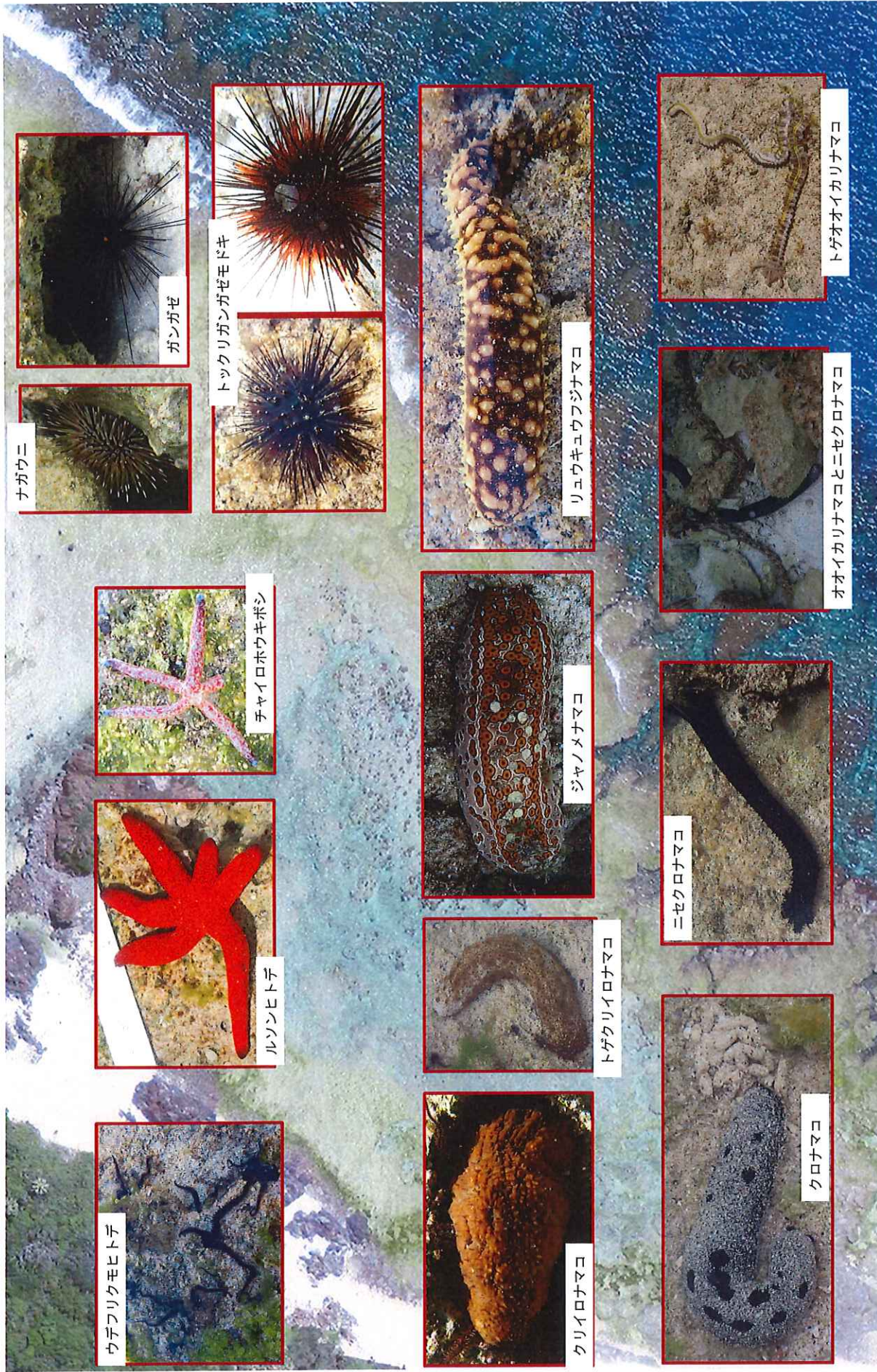


ヒメイワガニモドキ



ヒメカクオサガニ

礁原タイプール（8）でよく見られる動植物（棘皮動物） 無脊椎動物（棘皮動物） -4-





礁縁（9）でよく見られる動植物

外洋に面しているので、テーブルサルゴやサボテングサなど、波当たり
の強いところ、海水の交換が十分あるところに住む生き物が見られます。
その周辺をじっくり観察すると、外洋性の動きの速い生き物も見られ
ます。また、サンゴの樹間には魚類や甲殻類も見られますが、なかなか見
つけにくいです。

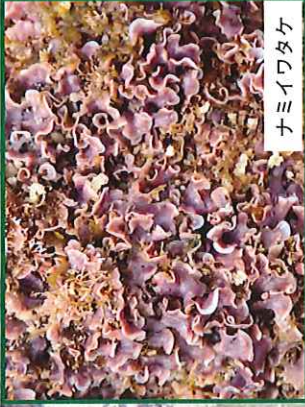
波に気をつけ、海に落ちないようにして探してみてください。

礁縁（9）でよく見られる動植物

海藻類



サボテングサ



ナミイワタケ



ハイミル



ヒロハサボテングサ

サンゴ類



テーブルサンゴ



テーブルサンゴ



アミメハマサンゴ

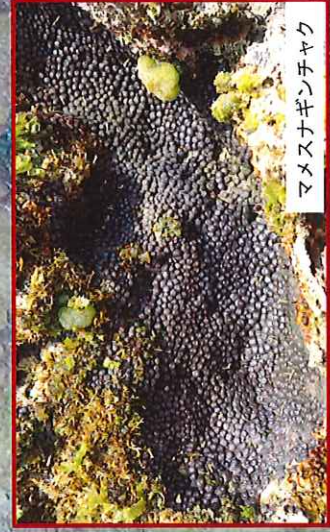
甲殻類



イボシヨウジンガニ



テーブルサンゴ



マメスナギンチャク



ミナミイワガニ